

新飯能

発行
日本共産党
飯能市委員会
973-1091

金子とし江
972-6401
山田とし子
973-4710
新井たくみ
978-0175
滝沢おさむ
972-3875

<議員団の連絡先>
973-2111(市役所416)
Mail jcp-sigi@pluto.plala.or.jp

新婦人 飯能支部

子そだて、平和 たたかって40年

十四日、新日本婦人の会飯能支部の、支部創立四〇年を記念「あしたの平和・くらしのために」をテーマに「飯能支部四〇年のつどい」が富士見公民館で約一五〇人が参加し盛大に行われました。オープニングは、ハッ

ピ姿のかわいい子ども達が踊る「キッズソーラン」で始まりました。飯能支部長の本多英美枝さんから、新しい婦人の組織を作ろうという平塚らいてうさんらの呼びかけに、一九六六年五月に飯能支部が創立したこと。当時

三班だったが、今は班も増え、要求別の子組がたくさんできて活発に活動していること。つどの準備段階で膳写版でガリ版刷りのニュースを発行していた時の苦労話や、子どもをつれてお母さん達の願いを対市交渉や



今、国に向けた要請行動をおこなってきたこと。そういう中で、大きな問題では乳幼児医療費の無料化と窓口払いをなくすことができたことが報告され、「憲法を変えて競争をする国にしないために、いまこそ力をあわせましょう」と挨拶しました。

和や文化面での取り組みもしてきたことなど幅広い活動が報告され歴史の重みを感じるつどいとなりました。講演はアフリカの太鼓や世界の楽器を使ったシンガーソングライターのヤマザキヤマトさんの演奏がありました。二部では、各班が趣向を凝らした発表で、和太鼓、わらべ歌遊び、エプロンシアター、ことば遊び、コーラスなど会場と

お母さんたちの 要求を次々実現

- 痛み押し付け 法案のポイント**
- 国民の負担増
 - △現役並み所得（夫婦2人世帯で年収520万円以上）の70歳以上の高齢者 2割→3割（今年10月～）
 - △70歳～74歳の高齢者 1割→2割（08年4月～）
 - △70歳以上の入院高齢者の食費、居住費負担増 月2万8000円増（今年10月～）
 - △高額療養費の自己負担限度額引き上げ
 - 高齢者医療制度の新設（08年4月～）
 - △75歳以上高齢者から保険料徴収（年金天引）
 - △保険料を支払えない75歳以上の人からも保険証を取り上げる措置が可能に
 - △国保加入の65歳以上高齢者保険料（年金天引）
 - 保険のきかない医療を拡大する「混合診療」の実質的な解禁
 - 療養病床の大削減（2012年3月までに）
 - 医療型療養病床（約25万床）を約15万床に大削減。介護型療養病床（約13万床）を全廃

自民・公明が 医療改悪法案を強行採決

反対署名を急いで広げよう

自民・公明両党は、高齢者の患者負担増などを盛り込んだ医療改悪法案を十七日の衆院厚生労働委員会強行採決しました。医療制度を根本から

みんな集まれ 許すな憲法改悪！ 守ろういのちとくらし

5月27日（土）12時30分
10:30～文化行事
ところ=東京・代々木公園（JR原宿駅下車）

飯能発

11時10分
集合11時



主催：国民大運動実行委員会

一般質問が 変わります

六月市議会から一般質問の方式が変わります。一年間試行と言うことですが、時間は一時間以内ですが、原則一問一答方式で回数制限はなくなりま

波 紋

料理番組の本に「(箭)が持ち上げている光かな」という岸田今日子さんの句が紹介されています。食べた。食べることばかり考えている者とはさすがに目の付けどころがちがいます。地面に顔を出したばかりのたけのこが光をもちあげているなんてすごい発想です。▼旬のものといえば、夕張メロンの値段にはびっくりしました。初競りです。ついでに値段がなんと二玉で八十万円、たかがメロン、されどメロンということなのでしょうが、どうも我々には旬の山菜を採ったり食べている楽しみのほうが大きいように思えるのですが▼山菜かメロンの比較ではすまされないので「かぎりなくできない非才、無才にはせめて実直な精神だけを養ってあげてもらえばいい」「落ちこぼれの底辺を上げることにはばかり注いできた労力を、できる者をかぎりなく伸ばすことに振り向ける」という三浦朱門・元教育課程審議会会長の発言です。「実直な精神」というのは「愛国心」であり「競争する国」に忠誠を誓え、ひどい教育基本法の改悪を許してはなりません。

美杉台で人口減の中

どうなる南台第一めぐみの丘

都市再生機構(旧公団)が施行する美杉台地区に続く南台第二・「めぐみの丘」の入居の状況と美杉台地区の人口変動について報告します。

その後三〇戸追加されました。現在、入居の許可申請は八〇件出ていますが、実際の入居は三〇戸となっています。

都心回帰で人口減少

人口減少

南台第二地区は、事業期間平成八年〜三年度、開発面積四九・一ha(宅地二一・六ha、道路・公園・緑地二二・五ha、保留地五ha)、開発人口四〇〇〇人となっています。第一期分四〇戸で募集し、

土地については、定期借地権が設定されているものが多く、美杉台地区では八〇坪位で売り始めましたが、南台第二では六〇坪位で区画を縮小しています。また、道路からのセットバックも美杉台では一坪であったものが南台第二では七〇cmとしていて、購入の条件を緩和しています。



しかしながら、美杉台地区では、微増ですが都心回

帰等による人口減少が起きており、計画人口の四〇〇〇人についても不透明だと言わざるをえません。

ふれあいサロンの補助金減らないうで

ほつミーティングで

川寺、笠縫、前ヶ貫地域の『加治ふれあいサロン』立ち上げにかかわってきたボランティアの堺田さんは、「立ち上げから二年間は社会福祉協議会から一回一人一〇〇円の補助金が出されていてお茶菓子代に当てて楽しく運営してきたが、二年間だけではなくきちんと補助してほしい」と貴重な経験をふまえて発言しました。

社会福祉協議会では、ふれあいサロン立ち上げに際して二年間に限って、一人一〇〇円の補助金を

出しています。開催に当たって事務費として一回五〇〇円、サロン保険を全員に期限無く出しています。その財源は、地域福祉基金(三億九〇〇〇万円)の利子で運用されているために現在の低金利では、事業の資金を確保するのが難しくなっています。現在、市内に二二サロン、約五〇〇〇人の会員があり、一人一〇〇円の補助金で五〇万円が必要なために、社会福祉協議会ではこの費用を捻出するためにいろいろ見直しを行っています。



美杉台地区は、平成元年に街開きし、計画人口八〇〇〇人に対し、平成一七年三月一日、五二二人が今までの最多で平成一八年四月一日時点で五〇七六人と減少しています。

平和行進 礼文島を出発

通し行進参加の 柴崎康夫さんからの便り

(五月六日礼文島より) 出発の激励とカンパありがとうございました。まだ根雪が残るなかでしたが、快晴にめぐまれ、参加人員は二

〇名でした。地元の人「礼文の春は平和行進と共にやってくる」と言う言葉が印象的でした、残り八日すこぶる元気、シュプレヒコールの声も大きく響きました。



礼文島の絵はがき

(十三日旭川より) ようやく一週間がたちました。自治体訪問も、署名、ペナント、募金と要請して募金で財政をまかっています。旭川は北海道第二の都市で、行進も一五〇名を越えています。

ました。署名三〇分で一五〇筆、参加者二八名と雰囲気も違っています。桜前線もようやく旭川に届いたようです。

寄り添い 見守る保育者の目

本橋萬智子さんの講演

飯能市手をつなぐ育成会の総会が十五日に行われました。当日は事業報告や会計報告が行われた後、元名栗幼稚園園長で現在山村学園短期大学で講師を務めている、本橋萬智子さんの「出会い

っていると云うことです。地域の協働をになうボランティアの活動を励ます市の姿勢が求められます。

から学んだこと、教えられたこと」題して講演が行われました。本橋さんは幼稚園の時に入所してきた障害児にきめ細やかに接し、子どもの良さ、特徴を引き出しながら、一緒に成長に

かかわり、卒園をする時には大きく変わった子供の体験を語りました。一人ひとりの子供の成長には、その子の良いところを見つけ、伸ばすことの大切をうけとめました。



かかわり、卒園をする時には大きく変わった子供の体験を語りました。一人ひとりの子供の成長には、その子の良いところを見つけ、伸ばすことの大切をうけとめました。